

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どれみだんけ川崎		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 25日 ~ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2024年 11月 25日 ~ 2025年 1月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人に対して、講師が一人以上配置されているところ	担当児童一人一人に向き合うことで、その児童の強みを伸ばせたり弱みを見極めて療育する。じっくりと向き合うことで見えてくる児童の偏りなどを見つけていく	発達支援に関する知識向上を目指しつづける
2	同じ法人での心理研修や言語聴覚士の研修などで、より広い視野をもって療育に臨める	専門分野からの研修で自己研鑽にも取り組んでいる	研修で培った内容を療育で活かしていけるように社内で共有していく
3	ピアノや楽器を使い、抑揚をつけた言葉を歌う【ことは音楽療法】を基本としている	物事の説明やカレンダーの読み方、言葉の使い方などを歌の歌詞のように伝え、それをテンプレートとして自分の言葉に置き換える練習ができる	更に発展させ伝えていけるように、抑揚をつけた言葉の発声の練習を従業員間でも練習を続ける

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	すべての児童の小さな強みや弱みなどをすべての従業員が理解することが難しい。	曜日、時間によって、来所する児童・出勤する従業員が変わることがあり、細かな伝達が漏れることがある	その日の業務日誌や個別のプログラムにも伝達事項を記入する
2	SNSなどでの周知が完全ではない。	昨年度より法人を新たに始まった事業所なので、旧SNSにいくなど支障が生じてしまう	新しく作っているホームページを活用してだけでなく、保護者の待合室にももう少しインパクトのある告知をしていく
3	すべての児童に対して避難訓練などを行うことが難しい。	曜日、時間によって来所する児童が変わるので、全児童の避難訓練は難しい。説明やSNSでの発信はしているが万全ではない。	避難訓練を予定していた週にお休みをしてしまった場合でも、出来る限り個別に訓練をしたりお話を設けていくなど考えていきたい。